

■石川中央都市圏内の高等教育のグランドデザインに関する意見交換について

日 時：令和4年9月28日（水）意思決定委員会

場 所：ハイフレックス

参加者：最終頁参照（議長：幹事校 金沢工業大学 大澤学長）

石川中央都市圏内の高等教育におけるグランドデザインとして、当地域での質の高い長期的な高等教育の展望、教育の特色と質保証、各大学の役割、18歳人口減少を踏まえた将来像についての意見交換を行った。

大澤議長より、本PF設立の趣旨に則り「学都金沢」ブランド力の強化と石川中央都市圏のビジョンに鑑み、「質の高い特色ある教育の実施」「地域・産業の活性化」「住みやすさ日本一の圏域」を目指す高等教育機関としてのグランドデザインと、アフターコロナを見据えた大学等のグローバル化という観点から、各委員に意見が求められた。

・金沢星稜大/同短大 大久保委員

グローバル化の推進は大賛成であり、コロナで停止した部分を早急に具体的に進めていかなければならないと考えている。本学ではグローバルに関する部分は人文学部が担っているが、コロナで全てがストップしてしまった。今からの活動としては、英語圏だけでなく、他の言語を学ぶ取り組みを考えており、他の言語をサポートするスタッフを揃えなければならないなど課題が多い。1つの大学で実施するのは負担が大きいため、私大等PFで1つの総合大学として共同で学生を受け入れ、教育するなどの取り組みを今後は考えていきたい。

・北陸学院大/同短大 楠本委員

グローバル化という点では、コロナで人が動けないのが現状である。留学のいろいろなバリエーションがあるが、対応が難しく、今は慎重に再開を進めている。本学も英語圏だけでなく、アジア圏などの言語を学ぶ教育は1大学では難しいため、いろいろな大学で協力できるとよいと考える。

・北陸大 小倉委員

グローバル化はコロナの終息が1つのポイントだと考えている。それが解決すれば、留学生の受け入れや日本からの留学生の派遣は復活すると考えている。本学では留学生に日本語を教える留学生別科を設置しており、そこで様々な国の方に日本語を教えているので、私大等PFに協力できると考えている。

また、高校から大学への進学率を上げていくことが大事であり、それには高大接続が大切であると考えている。本学ではこれまで私立高校と高大接続を強化しており、それに加えて石川県の県立高校と私立大学の高大接続も導入したいと考えている。

・金城大 木林学部長（代）

本学は「健康」を特色としており、世代間交流が大切であると考えている。県外から若者を呼び込んで地域の活性化にどのようにつながるか、行政と連携した特色や取り組みを考えていく必要があると考えている。

・金城短大 吉岡副学長（代）

本学は地元就職率が高い。幼児教育分野では、ブラジルから来日した家族の子供が保育園

に行った際に、ポルトガル語しか話せなく、日本語が話せないという事例がある。地域にもよるが、多言語ができる保育士の育成ができればよいと考えているが、本学だけでは難しいため、私大等 PF で協力できたらよいと考える。

また、18 歳人口の減少を考えると限界があるため、社会人を取り込んでいく必要もあり、私大等 PF で取り組みを考えていきたい。

・金沢医科大 官澤委員

医学部卒後の地元就職は地域で採用できる人数が厚労省等でガイドラインが示されているため、若者の定着については貢献しにくいのが、私大等 PF の中の大学等と本学の施設を共同で利用して分野を超えた連携を拓けていくことで、新たな価値が創出できるのではないかと考えている。

・かなざわ食マネ専門職大 岡内委員

都市圏に人材やお金も集中しており、サプライチェーンの出口である小売業などを見ると、地方による六次産業化がこれからの大きな課題である。地域で採れたものをそのまま首都圏などに持っていくなど地域の付加価値を上げたビジネスを考えなければならない。食の世界では冷凍技術などのフードテックイノベーションが盛んで、そのような技術を地域から創出させていく必要があるのではないかと考えている。フードビジネスでもテクノロジーを活用して解決できることもあり、大学等・自治体・産業界が協力する仕組みを進めていき、地域の中で拓けていく構図の中で私大等 PF が関われることを期待している。

・国際高専 Barksdale 委員

本校はグローバル化を特色としており、学内ダイバーシティ化を図っている。いろいろな国出身の教員を雇用しており、世界各国からの留学生を受け入れられる教育環境を整えている。地域のダイバーシティやグローバル対応の一端を担うことで私大等 PF に協力していきたいと考えている。

・金沢工大 大澤議長

自治体や産業界からは、本 PF に対して、県外から学生を呼び込み、地元定着させることが強く望まれている。学生が地元の魅力を理解するために、複数の大学が連携するようなイベントやプロジェクト活動を更に推進することが重要であると考えている。

また、高大接続も非常に大切であり、自分がやりたいことができる大学を見つけることが大切であり、私大等 PF として各大学が連携することで、高校生にとっても有益な情報提供と大学を体験するという機会の提供が可能になるのではないかと考えている。また、私立大学としては入学定員を充足することも重要であることから、それらが各大学の特色を広く伝える機会にも成り得るのではないかと考えている。高校生からは「PBL を学べる機会があるとよい」との声もあり、可能な範囲でオープンキャンパスを合同で開催し、共同で PBL を実践するのもアイデアの 1 つである。さらに人生 100 年時代といわれる中で、健康やスポーツを通じた私大等 PF の取り組みも考えていきたい。

最後に大澤議長より、石川中央都市圏に関するランドデザインについて様々なご意見をいただいた内容を整理・統合したうえで引き続き継続的な議論をしていきたいとまとめられた。

以上

<参加者一覧>

大学、自治体、産業界等		意思決定委員会		出欠	備考
		役職	氏名		
大学等	金沢医科大学	学長	宮澤 克人	○	
	金沢学院大学	学長	秋山 稔	○	
	金沢学院短期大学	学長	高他 毅	欠席	
	金沢工業大学	学長	大澤 敏	○	幹事校
	かなざわ食マネジメント専門職大学	学長	岡内 祐一郎	○	
	金沢星稜大学	学長	大久保 英哲	○	
	金沢星稜大学女子短期大学部				
	金城大学	学長	米島 學	欠席 (代理)	医療健康学部 学部長 木林 勉
	金城大学短期大学部	学長	加藤 博	欠席 (代理)	副学長 吉岡 利恭
	国際高等専門学校	校長	Lewis Barksdale	○	
	北陸学院大学	学長	楠本 史郎	○	
	北陸学院大学短期大学部				
	北陸大学	学長	小倉 勤	○	
自治体	金沢市	都市政策局長	新保 博之	欠席 (代理)	都市政策局担当次長(兼) 企画調整課長 村角 薫明 都市政策局 企画調整課 交流拠点都市推進室長 西川 実
	白山市	企画振興部長	東 俊昭	○	
	野々市市	総務部・部長	中田 八千代	欠席 (代理)	総務部企画財政課 企画担当課長 木戸口 浩士
	内灘町	都市整備部担当部長	上出 勝浩	○	
産業界	金沢商工会議所	専務理事	普赤 清幸	欠席 (代理)	総務企画部 次長 竹田 和光
	白山商工会議所	専務理事	竹内 茂	○	
	野々市市商工会	事務局長	山崎 由治	欠席	
	(一財)北陸産業活性化センター	常務理事	福井 聡	○	